

若楠かわら版

社会福祉法人 若 楠
療育医療センター 若楠療育園
若楠児童発達支援センター



〒841-0005

佐賀県鳥栖市弥生が丘 2 丁目 134 番地 1

Tel 0942-83-1121

Fax 0942-83-1755

～新・事務課長/法人事務局長のご紹介～



はじめまして。4 月1日より事務課長を拝命しました小川と申します。

3月まで「障害者就業・生活支援センターもしもしネット」で一般の会社で働く障害をお持ちの方々のサポートを13年間行ってきました。相談者、ご家族、職場の方・・・いろいろな思いや生活との関わる中でも様態には変化があり、こころの不調が起因した相談が年々増えていったように感じます。当たり前になり十人十色の喜びや幸せ、困難や努力がそこにあって、支援を通して改めて「こころ」というものの存在の大きさを感じました。健康維持のためには、「こころ」が軸にあると思います。ご利用者の皆さんの笑顔は、その生活を支える職員の笑顔と循環しています。私自身まだ不慣れで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、若楠に関わる全ての皆さんが心健やかにいれるように、縁の下の力持ちとして精一杯努力していきたいと思います。

事務所のスタッフも皆、頑張り屋さんなので、バタバタ忙しくしている場面もあるかもしれませんが、明るい雰囲気づくりを一人ひとり心掛けて日々業務を行っています。何か質問やご相談等ありましたら、いつでも気軽にお声掛けください。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

(事務課長 小川 まり)



3月まで若楠療育園で事務課長をしていました大塚です。4月から異動となり、法人事務局長を拝命しました。平成10年9月に入職してから26年7ヶ月間ずっと若楠療育園の事務室で勤務していましたので、今回が初めての異動です。法人本部事務局では、業務内容が施設の事務とは全く異なっており、多くのことを教えていただいている毎日です。

若楠療育園の事務室では、4月から小川事務課長を迎え、多忙な時でも和気あいあいとした良い雰囲気で仕事が出来ているように感じます。

法人本部事務局は若楠療育園事務室のすぐ隣にありますので、文字通りの「風通しの良さ」を生かし若楠療育園の事務室と密に連携をとりながら利用者・ご家族・職員の幸せのため、そして法人全体の発展ために尽力して参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(法人事務局長 大塚 玲子)

入 所 支 援 部

ドライブ 🚗

「フレスポ鳥栖」で買い物をしたり、「モスバーガー」のシェイクを公園で楽しんだり、「とりごえ温泉」でソフトクリームを食べたりしました♪



園芸 🍅

今年もトマトやきゅうりなどの野菜やミニひまわりなどお花を育てています。立派に育つように水やりも頑張ったかいもあり、早速、立派なきゅうりが収穫できました！



若楠療育園保護者の会 会長のご挨拶

本年 4 月の若楠保護者の会総会で、会長をご承認頂きました、有田町の辻安秀です。よろしくお願い申し上げます。

諸先輩が沢山いらっしゃる中で、ご指名ご承認頂き、恐縮するばかりです。自分ができる事を、コツコツやらせて頂きます。

4 月の総会、またその後の勉強会で、「若楠療育園は家族」という表現がありました。「若楠ファミリー」この言葉が、この表現が一番心に響いております。入園者だけでなく、職員、保護者、皆でファミリーになって、若楠療育園を盛り立て、お手伝いをして、ゆくゆくは入園者のためになるのだと思います。

会長一人の力は微力ですが、皆で色々な行事に参加し、若楠ファミリーを盛り立てて行きましょう。

皆様のご協力よろしくお願い申し上げます。

若楠保護者の会 会長 辻 安秀様

生活介護事業

今月の活動は「紙すき」。
利用者の皆さんが材料作りから
始めて、「オリジナルポストカード」
の制作を行いました。

初めての体験に戸惑いながら
も、好きな色を選んだり、自分た
ちで見つけてきた、草花で作った
「押し花」を張り付けたり。

最後に文字のスタンプを押して
自分だけのポストカードは完成。
感謝の気持ちと一緒に家族へ贈
られました。



児童発達支援・放課後等デイサービス(重心クラス)

木の実・わかば便り



小麦粉粘土で遊びました。
両手で引っ張って伸ばして形や長さを変
えてみたり、絵の具を使って色の変化を
楽しんでみたり。

普段あまり触れることのない感触を思
い思いに探りながら楽しみました。



児童発達支援だより

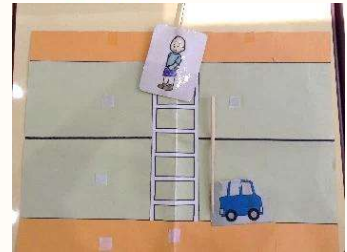


好きな電車を見るために交通ルールを勉強して、弥生が丘駅に行きました。

言葉で交通ルールを聞いただけでは何が危険なのか、正しいのか、イメージが持ちにくいお子さんでも、イラストなどの視覚的な情報と併せて説明することで注目や理解を促します。

信号が赤になっているのを見て「とまる」等体験しながら駅まで向かいました。

駅に到着すると「速いね」「つばめ乗ったことがある」等色々な電車の話をしていました。



放課後等デイサービスだより

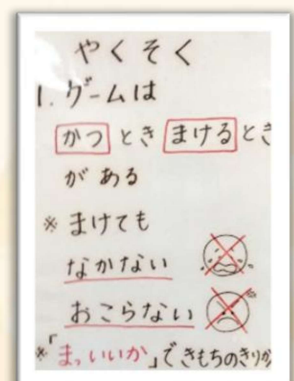
室内で遊べる余暇の一つとして「すごろくあそび」をしました。

すごろくは、数の概念、先の見通しを持つ力やルール理解、社会性等の能力を必要とします。

約束やルールを視覚的に提示することで、自分たちで確認しながら取り組めるように支援をしました。



イラストの手順



●若楠療育園企画『福祉領域基礎研修』

園として初めての試みである『福祉領域基礎研修』に参加する機会を頂きました。プログラムは三年間と長期に渡ります。園の歴史や基本理念の再確認、同世代職員との交流を通して仕事に対する目標をより明確に持ち、福祉に携わる者としての基本姿勢を学ぶことが目的とされています。

特に印象に残ったのはグループディスカッションです。普段関わることが少ない様々な部署、職種の方々がどのように異なる視点から利用者と関わっているのか具体的なエピソードを通して知るが出来た時間でした。

更に新貝事務長からは、「自分の柱」となるものが働く中でいかに重要かとのお話。「学び続けて行く姿勢」の大切さを教えて頂きました。

研修はまだ始まったばかりですが、自身を振り返るきっかけとして、利用者一人ひとりの気持ちに寄り添う力を養っていききたいと思います。

(若楠児発達支援センター 生活支援員 末次 祐太)



●法人企画『スキルアップ研修』

法人内の別事業所で一日利用者や職員と過ごす中で、新たな学びに繋げる『スキルアップ研修』に参加しました。

私の配置はグリーンファーム山浦(就労移行支援・就労継続支援B型)。療育園とは、利用者の障害特性や支援の方向性が大きく異なることを実感しました。公園のトイレ掃除やゴミ拾いも体験。利用者の真剣な働き方に「仕事」に対する意欲を感じました。また、職員も利用者一人ひとりに合わせた声掛けを行う中で作業内容を評価しながら支援を行っており、就労支援ならではの支援方法を学ぶことが出来ました。

実地研修後には、他施設での体験報告も聞くことができ、様々な支援の現場や目的について理解を深める機会となりました。同じ法人で働く者として、今回学んだことを常にこころの基本とし、日々の今後の業務に活かしていきたいと思っています。

(第1生活棟 生活支援員 米岡 恵)



【編集を終えて】

例年よりずっと早い梅雨明けで、雨音に耳を傾けるひとときもないままに、本格的な夏がやってきました。今年の夏はいつもより長くなりそうですね。

さて、今号の「かわら版」では最後に二つ研修手記が載っています。書いてくれた二人はこの「かわら版」の作成に携わっている広報委員会のメンバーです。この委員会では、毎号色々なアイデアを出し合って皆さんにより楽しく読んでいただける紙面づくりに取り組んでいます。

その中の若楠療育園企画「福祉領域基礎研修」について少し触れさせていただきます。

名前が硬いので「ふくしのこころ・たまてばこ」という副題も用意しました。そのココロは…この研修会が「開けてびっくりたまてばこ」のように、自分にとって大切な宝ものが見つかり、心おどる体験になればという願いを込めて…というものです。また、毎回冒頭では「若楠基本理念」に関する内容も盛り込んでいく予定です。

「若楠基本理念」には施設づくりに大切な思いが込められていて、私どもの進むべき「道しるべ」です。

この理念を、若い世代の職員に大切に受け継いでいくことは、法人若楠の未来のために必要不可欠です。

今号の中で若楠療育園保護者の会 社会長も基本理念の一つ「若楠ファミリー」のことに触れていただいていることを大変うれしく思います。

間もなく、創立者の横尾英彦会長の一周忌を迎えます。「若楠基本理念」を改めて思い、横尾会長を偲びながら「編集を終えて」を書かせていただきました。

(事務長 新貝 恵美)